

## 第22回 奈良県河川整備委員会 議事概要

1. 日 時：平成16年4月12日（月）14：30～17：00
2. 場 所：奈良商工会議所 5F 大会議室
3. 出席者：委員（敬称略）池淵周一、木村優、御勢久右衛門、荻野芳彦、近江昌司、  
北口照美、榊原和彦、伊藤章子（順不同・敬称略）  
奈良県 森脇土木部次長、竹島河川課長 ほか

### 4. 議 事

#### (1) 第21回奈良県河川整備委員会の議事概要の確認

- ・事務局より、第20回委員会議事概要の説明。
- ・「意見交換」、「要望」という表現について、適切な表現に修文する。

#### (2) 河川管理者からの報告（住民意見聴取及び意見について、他）

#### (3) 布留飛鳥圏域 河川整備計画（原案・平成16年4月版=第4稿）の説明

- ・事務局より、住民意見聴取の方法、住民意見のとりまとめ状況報告、原案の修正について説明。

### 【主な意見】

#### 《河川の水質改善について》

- ・三輪川の河川直接浄化施設について住民から意見が出なかったということは、この施設が余り知られてないということではないか。河川が汚れている責任は皆さんにもあるということ、それをゼロにするためには、金額にしたらずごい金額になることをリアルに訴え、発生源に対する責任を感じさせるようにしていくべき。

→水質改善について、住民の方にもっと伝わりやすいPR方法を工夫していく。

- ・住民意見集約の4頁に「布留川」の水質に関する意見があるが、回答が淡白。ダムと河川には、それぞれ類型指定がなされており、それに従って水質をチェックしている。そういうことを丁寧に書いておくのがいい。
- ・奈良県の川のBODを調べたデータを見ると、田んぼの水のために6月ごろに上がる。そのことも書き込めないか。農林担当課が指導すれば、琵琶湖では割にうまくいってると思う。

#### 《住民意見の反映について》

- ・河川管理者が川をみんな同じだというふうに書いているのは、川に対する感覚が非常に乱雑。住民意見を読ませてもらうと、堰があるから臭くて困っているとか、ここは吉野川分水が来ているので比較的いいとか、住民は川ごとの特徴をはっきりとらえており、一つずつについて意見が述べられている。河川管理者は、これに対してきめ細かくコツコツと真摯に答えていくという姿勢がないと、ジャンル別に利水、治水、環境、利用、維持管理と十把一からげにするのはよくない。

- ・住民意見はどういう取り扱いになるのか。何か別の取り扱いがあるのか。
- ・第4稿では治水面が手厚く出ているのに比べて、利水とか環境については、やっていきますというだけで終わっている。奈良県における官民連携、地域住民との連携・協働の仕組みや合意形成のメカニズムをつくるべき段階ではないか。この委員会でそれを行ってはどうか。
- ・住民意見の反映の仕方が整備計画の遂行においてどのような形で機能するところまで高めていくかに関して、これまでの県の挑み方の実績はどうか。この3年間を経過してきた中で、こういうことをやってきているということがあればお願いしたい。

→ 委員会での提言をいただきながら、かなり充実した流域懇談会や集会を行ったり、除草や清掃を行っている団体に対して支援するボランティアサポート事業を新たにスタートしている。

住民との連携・協働をどういう形でやっていくかということについては、ワークショップ方式、対話集会、円卓会議等、委員会形式等、いろいろな形態が考えられる。今回、整備計画にこのように書いたことで、私達も責任を負う立場になったわけであり、どのようなプロセスや手法でやっていくかについては、河川整備委員会でご意見をいただきながら検討していきたい。

- ・アンケートや住民意見を見ると、川への関心が非常に高く、住民が川にいろいろかかわっているという雰囲気が感じられる。しかし、第4稿にはそれが見えてこないという気がする。川への関心の高揚とか、住民と連携・協働した川づくりというところには、ほかの地区とほぼ全く同じような書き方しかされていない。この地域は非常に関心を持ち、愛着を感じている意見が多かったことを感じさせてほしい。
- ・地域にいても、(住民の意識は)変わってきたと思います。一生懸命やって下さっている効果は、そんなにパツとは見えませんが、本当に上がってきていると思います。

#### 《分かりやすい表現》

- ・BODが11あって、6に変わったと、そういうことより、「もう少し皆さんが川に家から流すものをうまくすればアユがすめますよ」等といった表現にすれば、もう少し頑張ろうと思うだろう。そうすれば、住民も努力すると思う。
- ・21世紀は安全・安心の時代。川の側壁のところは車を通さず、歩行者専用にする。そうすると川がよく見えて、汚れとかきれいということがわかってくる。そういった提案をすれば、担当している河川課の方も住民の方々にもいいやすい。
- ・水質のチェックは環境政策課が担当すれば良いものであり河川課が行うものではない。横のつながりが大事。環境、景観などの整備については河川の問題であり、各々が何を具体的にやるかがわかるような形になれば良いのでは。

#### 【合意事項】

- ・布留飛鳥圏域の審議を終了することについては了解。
- ・整備計画(案)の策定にあたり、第4稿からの修正等については委員長一任とする。